

会報

日本食品化学学会 2022 年度第 1 回理事会議事録

日 時： 2022 年 3 月 18 日（金） 13:00 ～ 16:00

場 所： アットビジネスセンター PREMIUM 新大阪 9 階 911 号室
〒 532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 9F

出 席： 合田 幸広、良永 裕子、鰐渕 英機、井之上 浩一、伊藤 美千穂、小川 久美子、東田 千尋、
船見 孝博、松浦 寿喜、松藤 寛、尾崎 麻子、鳥羽 真由子

W e b： 穂山 浩、日下部 哲也、佐藤 恭子、中江 大、矢野 竹男

（理事 15 名、監事 2 名）

欠 席： なし

【議 案】

1. 第 14 期評議員選挙開票および候補者の推薦（総会提出議案）
2. 2022 年度 第 28 回総会・学術大会について
3. 2021 年度 事業報告書案および決算報告書案の作成（総会提出議案）
4. 2022 年度 事業計画書案および収支予算書案の作成（総会提出議案）
5. 第 24 回 奨励賞受賞者の決定
6. 第 17 回 論文賞受賞者の決定
7. 日食化誌の予定と進捗の報告
8. 2022-2023 年度編集委員の承認
9. 理事の欠員にもとづく補充者の指名
10. 次々期（2024 年度）学会長の総会への推薦（総会提出議案）
11. 理事役割分担について
12. 評議員会提出議案について
13. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関する事など）

1. 第14期評議員選挙開票および候補者の推薦（総会提出議案）

総投票数：123票、次の個人会員26名を評議員候補者として総会に提出することとなった。

2023年度－2024年度評議員一覧（任期：2023年1月1日～2024年12月31日）

（50音順・敬称略）

氏名	所属
秋場 高司	アサヒグループ食品株式会社
天倉 吉章	松山大学 薬学部
石井 雄二	国立医薬品食品衛生研究所 病理部
伊藤 澄夫	富永貿易株式会社
伊藤 裕才	共立女子大学 家政学部
稲熊 隆博	信州大学 農学部
井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
内山 奈穂子	国立医薬品食品衛生研究所 生薬部
片山 茂	信州大学 農学部
金谷 重彦	奈良先端科学技術大学院大学
川原 信夫	高知県立牧野植物園
橘田 和美	農業・食品産業技術総合研究機構
窪崎 敦隆	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
柴田 敏行	三重大学大学院 生物資源学研究科
杉本 直樹	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
多田 敦子	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
千葉 修一	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
堤 智昭	国立医薬品食品衛生研究所 食品部
堤内 要	中部大学 応用生物学部
徳楽 清孝	室蘭工業大学大学院 工学研究科
長岡 寛明	長崎国際大学 薬学部
中村 宗一郎	信州大学
宮下 隆	キューピー株式会社
六鹿 元雄	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
森本 隆司	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
渡辺 卓穂	一般財団法人食品薬品安全センター

2. 2022年度第28回総会・学術大会について

松藤理事より第28回総会・学術大会の内容及び準備状況について説明があった。

(1) 第28回総会・学術大会の開催

学 会 長：松藤 寛（日本大学 生物資源科学部）

日 時：2022年5月19日（木）～20日（金）

場 所：東京ビッグサイト（ifia 同時開催）

- 学会長講演：「食品と分析化学 FOOD × ANALYSIS = ?」
松藤 寛（日本大学 生物資源科学部 食品分析学研究室 教授）
- 招待講演：「食の価値創造によるローカル・トランスフォーメーション（LX）」
受田 浩之（高知大学 理事・副学長）
- 招待講演：「フグ毒による水産物の予期せぬ毒化」
糸井 史朗（日本大学 生物資源科学部 増殖環境学研究室 教授）
- 特別講演：「食品安全行政の現状と課題（仮）」
近澤 和彦（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長）
- 奨励賞受賞者講演：「ラット門脈カテーテル留置法における粉末プロテイン飲料の消化吸収性の差異に関する研究」
中村 衣里（武庫川女子大学 食物栄養科学部 食創造科学科）
- 一般発表：口頭およびポスター（演題募集）
- 関連行事：①若手優秀発表賞 ②交流会なし、
③企業展示（ifa） ④ランチョンセミナー（1社受付）
- 参加費：学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円
（交流会なし）

(2) 第 28 回総会・学術大会実行委員（22 名）の承認

学術大会運営の為、下記名の実行委員の推薦があり、承認された。

松藤 寛（大会長）（日本大学）	大槻 崇（実行委員長）（日本大学）
山口 勇将（日本大学）	三浦 亨（富士フィルム和光純薬株式会社）
小川 久美子（国立医薬品食品衛生研究所）	杉本 直樹（国立医薬品食品衛生研究所）
穂山 浩（星薬科大学）	良永 裕子（麻布大学）
井之上 浩一（立命館大学）	藤田 和弘（日本食品分析センター）
秋場 高司（アサヒグループ食品株式会社）	本村 陽介（株式会社ウエノフードテクノ）
好本 誠子（サントリーホールディングス株式会社）	瀧川 義澄（アジレント・テクノロジー株式会社）
古庄 義明（ジエールサイエンス株式会社）	植田 泰輔（シグマアルドリッチジャパン合同会社）
原田 修一（林純薬工業株式会社）	水井 浩司（富士フィルム和光純薬工業株式会社）
今立 恵美（株式会社食品化学新聞社）	森下 紗衣（株式会社食品化学新聞社）
森本 隆司（三栄源エフ・エフ・アイ株式会社）	中川 誠（三栄源エフ・エフ・アイ株式会社）

3. 2021 年度 事業報告書案および決算報告書案の作成（総会提出議案）

下記の内容で総会への提出が承認された。

3-1. 事業報告書案

(1) 第 27 回総会・学術大会の記録

学 会 長：小川 久美子（国立医薬品食品衛生研究所 病理部長）

日 時：2021 年 6 月 10 日（木）～ 6 月 11 日（金）

形 式：Zoom および LINC Biz による Web 開催

学会長講演：「リスク評価の潮流と展望」

小川 久美子（国立医薬品食品衛生研究所 病理部長）

招待講演 (1)：「食品安全行政の現状と課題」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課

特別講演 (1)：「天然物由来、錠剤、カプセル形状食品の品質保証」

合田 幸広（国立医薬品食品衛生研究所 所長）

特別講演 (2)：「食のデータサイエンス」

金谷 重彦（奈良先端科学技術大学院大学 教授）

奨励賞受賞者講演：

「食品中の残留農薬等の分析法開発に関する研究」※令和元年度奨励賞受賞

菊地博之（国立医薬品食品衛生研究所 食品部 主任研究官）

「食品用器具・容器包装の分析法に関する基礎的および発展的研究」

阿部 裕（国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 主任研究官）

一般発表：（口頭）15題、（ポスター）38題

参加者数：194名

（内訳：会員122名、非会員13名、学生12名、来賓15名、スタッフ等16名）

関連行事：①評議員会および編集委員会（6月9日、ZoomによるWeb形式で実施）

②若手優秀発表賞

口頭発表部門

A-01 西崎 雄三（国立医薬品食品衛生研究所）

「食品添加物中の窒素定量分析～燃焼法 vs ケルダール法～」

A-10 加藤 寛之（名古屋市立大学大学院医学研究科）

「STAT3-DPYD 経路を介した Luteolin の膀胱化学予防効果の検討」

ポスター発表部門

B-04 鳥井 昭良（株式会社日清製粉グループ本社）

「LC-MS/MS を用いたくるみ及びアーモンド由来タンパク質分析法の開発」

B-05 酒井 有希（日本大学生物資源科学部）

「Single-reference HPLC 法によるアントシアニンの定量に関する研究」

③交流会なし

④ランチタイムセミナー2件

⑤企業展示2件

参加費：学術大会 会員4,000円、非会員6,000円、学生1,000円

(2) ifia JAPAN 2021 食の安全・科学フォーラム 第20回セミナー&国際シンポジウム

テーマ：食品の輸出入拡大と穀物の衛生管理

Expansion of food imports and exports and grain sanitation management

主催：日本食品化学学会・日本食品微生物学会・日本食品衛生学会

共催：日本食品衛生協会、食品産業センター、食品化学新聞社

日時：2021年5月14日（金）10時00分～16時40分（受付開始9時30分）

場所：パシフィコ横浜（ホールC・D）

演題及び講師：

第一部 食品の輸出入に伴う規格基準と国際整合性

「農林水産物・食品の輸出促進事業について（米と米粉を例にして）」

農林水産省政策統括官付 農産企画課 米穀貿易企画室 課長補佐 島本健一

「食品の残留農薬に関するリスク評価と国際整合性」

内閣府 食品安全委員会事務局 リスクコミュニケーション官 藤田佳代

「輸出食肉に関する取り組みについて」

厚生労働省医薬・生活衛生局 食品監視安全課 輸出食品安全対策官 佐々木菜保子

第二部 穀物の衛生管理

「穀物を中心とした食物アレルギー表示制度の現状」

国立医薬品食品衛生研究所 生化学部第3室長 安達玲子

「穀物中の残留農薬分析について」

一般社団法人残留農薬研究所 参事 坂真智子

「穀物の有害金属・元素の検出法と国内外の規格基準」

国立医薬品食品衛生研究所 食品部第4室長 鈴木美成

参加者：60名

参加費：前売り一般全日10,000円、前売り一般半日8,000円、

前売り会員全日8,000円、前売り会員半日6,000円、

当日13,000円

(3) 第37回食品化学シンポジウムの開催

担 当 理 事： 矢野 竹男（三重大学大学院地域イノベーション研究科）

テ ー マ： SDGs と食品化学

日 時： 2021年12月17日（金）13:00-17:00

場 所： 日 WEB 開催（Zoom ビデオウェビナー）

講演 (1) 食品と SDGs：COP26（グラスゴー気候合意）

三重大学副学長（SDGs・環境担当） 朴 恵淑

講演 (2) 食品添加物：SDGs とどのように関われるか

日本食品添加物協会 専務理事 脊黒勝也

講演 (3) 青果物の特性から近未来における包装の在り方を考える

農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門 上級研究員 北澤裕明

講演 (4) 水産生物へのゲノム編集技術の実用化に向けて

京都大学大学院農学研究科准教授 木下政人

講演 (5) 農作物へのゲノム編集技術の現状と今後の応用展開

大阪大学大学院工学研究科教授 村中俊哉

講演 (6) 食品添加物の不使用表示に関するガイドライン検討会について

消費者庁食品表示企画課 課長補佐 宇野真麻

参加者数： 105名（会員75名、非会員23名、講師・座長7名）

会 費： 無料

(4) 日本食品化学学会誌 第28巻の発行

第28巻1号の発行 発行日：2021年4月20日 発行部数：950部

論文4編 資料3編 総頁数：53頁

第28巻2号の発行 発行日：2021年8月30日 発行部数：950部

論文3編 ノート3編 総頁数：53頁

第28巻3号の発行 発行日：2021年12月28日 発行部数：950部

論文3編 ノート2編 資料1編 総頁数：47頁

(5) 理事会及び各種委員会の開催

理事会：1回、評議員会：1回、編集委員会：1回

(6) 会員数

2021年12月31日現在：個人会員552名、法人会員60法人、名誉会員16名

(7) 共催、協賛・後援

1) 他団体が主催で、本学会が共催となる学術集会

依頼なし

2) 本学会が主催で、他団体に共催を依頼する学術集会の場合

依頼なし

3) 他団体が主催で、本学会が協賛・後援となる学術集会の場合

<協賛> 第19回食品安全フォーラム（日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会）

第49回日本毒性学会学術年会（一般社団法人日本毒性学会）

<後援> 第三回 scChemRISC 研究会のご案内（京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA））

第38回日本毒性病理学会学術集会（日本毒性病理学会）

4) 本学会が主催で、他団体に協賛・後援を依頼する学術集会の場合

依頼なし


3-2. 決算報告書案

2021 年度決算報告書 (案)

(2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日)

収 入			支 出		
	予算金額	決算金額		予算金額	決算金額
会費(個人)	1,845,000 円	1,680,000 円	学術雑誌発行費	4,150,000 円	3,513,763 円
会費(法人)	2,340,000 円	2,280,000 円	学術大会費	400,000 円	170,009 円
会費(賛助)	0 円	0 円	シボジム費	200,000 円	106,933 円
投稿料	740,000 円	866,000 円	表彰費	480,000 円	499,860 円
広告料	1,000,000 円	1,085,000 円	会議費	200,000 円	157,633 円
雑収入	300,000 円	310,755 円	ホームページ運営費	220,000 円	215,550 円
			旅費・交通費	200,000 円	128,945 円
			印刷費	100,000 円	90,640 円
			郵送費	380,000 円	387,706 円
			振替手数料	110,000 円	106,204 円
			事務費	200,000 円	384,437 円
(収 入)	(6,225,000 円)	(6,221,755 円)	(支 出)	(6,640,000 円)	(5,761,680 円)
前期繰越金	4,429,873 円	4,429,873 円	次期繰越金	4,014,873 円	4,889,948 円
合 計	10,654,873 円	10,651,628 円	合 計	10,654,873 円	10,651,628 円

2022 年 2 月 22 日

事務局長 井之上 浩 

会計監査報告

上記の決算書を承認するとともに、会則に従って適正に執行されたと認めます。

2022 年 2 月 22 日

監 事 尾崎 麻子 鳥羽 真由子 

4. 2022 年度 事業計画書案および収支予算書案の作成（総会提出議案）

下記の内容で総会への提出が承認された。

4-1. 事業計画書案

(1) 第 28 回総会・学術大会の開催（ifia JAPAN 2022/HFE JAPAN 2022 と合同開催）

学 会 長：松藤 寛（日本大学 生物資源科学部）

日 時：2022 年 5 月 19 日（木）～ 20 日（金）

場 所：東京ビッグサイト（ifia 同時開催）

学会長講演：「食品と分析化学 FOOD × ANALYSIS = ?」

松藤 寛（日本大学 生物資源科学部 食品分析学研究室 教授）

招待講演①：「食の価値創造によるローカル・トランスフォーメーション（LX）」

受田 浩之（高知大学 理事・副学長）

招待講演②：「フグ毒による水産物の予期せぬ毒化」

糸井 史朗（日本大学 生物資源科学部 増殖環境学研究室 教授）

特 別 講 演：「食品安全行政の現状と課題（仮）」

近澤 和彦（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長）

奨励賞受賞者講演：

一 般 発 表：口頭およびポスター（演題募集）

関 連 行 事：①若手優秀発表賞、②交流会（実施せず）、

③企業展示（ifia）、④ランチョンセミナー（2社）

参 加 費：学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円

(2) ifia JAPAN 2022 食の安全・科学フォーラム 第 21 回セミナー & 国際シンポジウム

テ ー マ：食品添加物の国際整合性と食品の表示

主 催：日本食品微生物学会、日本食品衛生学会、日本食品化学学会

共催(予定)：日本食品衛生協会、食品産業センター、日本食品添加物協会、食品化学新聞社

協賛(予定)：未定

日 時：令和 4 年 5 月 18 日（水） 10 時 00 分～ 17 時 00 分（受付開始 9 時 30 分）

場 所：東京ビッグサイト 会議棟 605+606

定 員：250 名

演題及び講師：

第一部 食品添加物の国際整合性

「ワイン添加物の指定に向けた取り組み（仮）」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課課長補佐 田中里依

「コーデックス食品添加物部会の最近の動向（仮）」

一般社団法人日本食品添加物協会 松村雅彦

「食品添加物グローバル企業における国際整合性への対応（ビデオ講演）」

海外食品添加物メーカー

第二部 近年の食品表示の動き

「遺伝子組換え食品表示制度と最新の検知技術（仮）」

農研機構 食品研究部門食品流通・安全研究領域 高畠令王奈

「食品の微生物学的品質や殺菌について（仮）」

日本大学 生産工学部マネジメント工学科 五十部誠一郎

「食品添加物の不使用表示ガイドラインについて」

消費者庁 食品表示企画課 宇野真麻

(3) 第38回食品化学シンポジウムの開催

担当理事：良永 副理事長

テーマ：大学における食品衛生 / 科学教育の現状と今後

日時：2022年10月11日（予定）

場所：長井記念ホール（〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15）（予定）

定員：100名程度

会費：会員 3,000 円、非会員 5,000 円（予定）

(4) 日本食品化学学会誌 第29巻の発刊

第29巻1号 2022年4月発刊予定

第29巻2号 2022年8月発刊予定

第29巻3号 2022年12月発刊予定

(5) 理事会および各種委員会の開催

理事会：1回、評議員会：1回、編集委員会：1回

4-2. 収支予算書案（2022年1月1日～2022年12月31日）

収 入			支 出		
項 目	単 価	予算金額	項 目	数	予算金額
個人会員（552名）	¥3,000	¥1,656,000	学術雑誌発行費	3	¥3,800,000
個人会員（滞納分）	¥3,000	¥114,000	学術大会費	1	¥800,000
法人会員（60社75口）	¥30,000	¥2,250,000	シンポジウム費	1	¥200,000
法人会員（滞納分）	¥30,000	¥0	表彰費		¥290,000
賛助会員（0社）	¥30,000	¥0	会議費		¥250,000
投稿料		¥866,000	ホームページ費		¥220,000
広告料		¥1,085,000	印刷費		¥100,000
雑収入		¥280,000	旅費・交通費		¥400,000
			郵送費		¥380,000
			振替手数料		¥110,000
			事務費		¥400,000
（収入）		¥6,251,000	（支出）		¥6,950,000
前期繰越		¥4,889,948	次期繰越金		¥4,190,948
合計		¥11,140,948	合計		¥11,140,948

5. 第 24 回 奨励賞受賞者の決定

選考の結果、以下の 1 名に奨励賞を授与することが決定された。

- 候補者： 中村 衣里（武庫川女子大学 食物栄養科学部 食創造科学科）
「ラット門脈カテーテル留置法における粉末プロテイン飲料の消化吸収性の差異に関する研究」

6. 第 17 回論文賞、(広告主) 論文賞の決定

穂山編集委員長より編集委員から推薦された候補について説明がなされ、選考の結果、第 17 回論文賞として、下記論文に授与することが決定された（学会誌掲載順）。

- 「葉酸欠乏によって起こる複製依存的 DNA 低メチル化と DNA 損傷との関連性」
生野彰宏、南川佑太、竹林慎一郎、奥村克純
Vol. 28(1), 23-32(2021)
- 「Effect of Trigonella foenum-graecum seeds extract on Alzheimer's disease transgenic model mouse and its potential active compound transferred to the brain」
Mai M.Farid, Tsukasa Nagase, Ximeng Yang, Kaori Nomoto, Tomoharu Kuboyama, Yuna Inada, Chihiro Tohda
Vol. 28(2), 63-70(2021)

穂山編集委員長より広告主論文賞について株式会社島津製作所から申請があり、編集委員会からの候補について説明がなされ、下記論文に授与することが決定された。

- 「A novel preparation method for a proteoglycan in a matrix with collagen from salmon(*Oncorhynchus keta*) nasal cartilage and its affinity to L-selectin」
Yusuke Okamoto, Kyohei Higashi, Toshihiko Toida
Vol. 28(1), 9-15(2021)

7. 日食化誌の予定と進捗の報告

穂山編集委員長より投稿および審査状況は順調であることが報告された。

8. 2022-2023 年度編集委員の承認

新任 4 名を含む 30 名が、2022-2023 年度の編集委員として承認された。

日本食品化学学会編集委員会（2022 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日）

（50 音順・敬称略）

	氏名	新任	所属
1	穂山 浩		星薬科大学 薬学部 教授
2	石井 里枝		埼玉県衛生研究所 副所長
3	一色 賢司		一般財団法人日本食品分析センター 学術顧問
4	井之上 浩一	○	立命館大学 薬学部 教授
5	小川 雅廣		香川大学 農学部 教授
6	小関 良宏		東京農工大学 工学研究院 名誉教授
7	片山 茂	○	信州大学 農学部 教授
8	川原 信夫		公益財団法人高知県牧野記念財団 理事長 兼高知県立牧野植物園長
9	魏 民		大阪公立大学 大学院 医学研究科 准教授
10	橘田 和美		国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 本部人事部人事管理役 兼ダイバーシティ推進室長
11	合田 幸広		国立医薬品食品衛生研究所長
12	庄司 俊彦		国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品健康 機能研究領域 健康・感覚機能グループ
13	白杉 直子		放送大学兵庫学習センター 客員教授
14	杉本 直樹	○	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部第二室長
15	田口 貴章		国立医薬品食品衛生研究所 食品部第三室長
16	田中 卓二		岐阜市民病院 病理診断科部長・病理診断研究センター長
17	田村 倫子	○	東京農業大学 応用生物科学部 准教授
18	辻村 英雄		公益財団法人サントリー生命科学財団 理事長
19	手島 玲子		岡山理科大学 獣医学部 教授
20	中江 大		帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 教授
21	西島 基弘		実践女子大学 生活科学部 名誉教授
22	林 新茂		東京農工大学 農学部 客員教授
23	増田 修一		静岡県立大学 食品栄養科学部 教授
24	松藤 寛		日本大学 生物資源科学部 教授
25	水上 元		名古屋市立大学 名誉教授
26	三宅 義明		愛知淑徳大学 健康医療科学部 教授
27	森川 敏生		近畿大学 薬学総合研究所 教授
28	矢野 竹男		三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授
29	吉岡 靖雄		大阪大学 微生物病研究所 BIKEN 次世代ワクチン協働研究所 特任教授
30	良永 裕子		麻布大学 生命・環境科学部 教授

9. 理事の欠員にもとづく補充者の指名

佐藤理事が本年5月18日で理事を退任されることとなった。

後任として杉本直樹氏が指名された（任期：2022年5月19日～2023年12月31日）。

10. 次々期（2024年度）学会長の総会への推薦（総会提出議案）

次次期学会長として、杉本直樹氏（国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部）を理事会より推薦することが承認された。

11. 理事役割分担について

(1) 2023年度シンポジウム専門担当理事の選任

伊藤理事が選任された。

(2) 食の安全・科学フォーラム担当理事の選任

船見理事が選任された。

12. 評議員会提出議案について

以下の議案を提出することを決定した。

(1) 本会の会務・事業などに関する意見など

(2) 理事候補について

13. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関すること等）

特になし

以上

第8回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム

- 日時 2022年8月26日 9時30分～16時50分
- 会場 星薬科大学 百年記念館 (東京都品川区荏原 2-4-41)
- 主催 日本薬学会 レギュラトリーサイエンス部会
- 討論主題 若手研究者が担うレギュラトリーサイエンスの将来
- 内容 特別講演 2 演題、厚生労働科研費ミニセミナー、ポスター発表
 - 特別講演 1 佐藤 陽治 先生 (国立医薬品食品衛生研究所)
「再生医療分野でのレギュラトリーサイエンス」
 - 特別講演 2 本間 正充 先生 (国立医薬品食品衛生研究所)
「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) における国立衛研のレギュラトリーサイエンスの実践」
 - 厚生労働科研費ミニセミナー 小谷聡司様、松井保喜様 (厚生労働省)
「食品の安全確保推進研究」応募のススメ
- 参加方法 下記 Web サイトより、お申込み下さい。
- 演題登録締切 2022年6月24日 (金)
- 要旨登録締切 2022年7月12日 (火)
- 参加申込期間 2022年5月1日～8月1日
- 参加登録費 一般会員、学生会員、学生非会員は無料 (事前登録のみ)
一般非会員 2000 円 (事前登録のみ)

詳細はフォーラム HP をご参照ください。

- 問合せ先 〒 142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41 星薬科大学薬品分析化学研究室内
若手 RS フォーラム 2022 事務局 (実行委員長: 穂山 浩)
Tel: 03-5498-5765
e-mail: rsforum2022@hoshi.ac.jp
<https://sites.google.com/view/rs-forum-2022/>

第 49 回 日本毒性学会学術年会

会 期： 2022 年 6 月 30 日（木）～ 7 月 2 日（土）

会 場： 札幌コンベンションセンター
〒 003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1
URL： <https://www.sora-scc.jp/>

年 会 長： 石塚 真由美（北海道大学大学院獣医学研究院 環境獣医科学分野毒性学教室）

テ ー マ： 「One Health と毒性学」

参加登録と演題登録：

学術年会ホームページからのオンライン登録となります。

詳細についてはホームページをご覧ください。

・ 演 題 登 録：2022 年 1 月 12 日（水）～ 2 月 28 日（月）（予定）

・ 事前参加登録：2022 年 1 月 12 日（水）～ 5 月 11 日（水）（予定）

特 別 企 画： 年会長招待講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、キャリア形成支援プログラム、市民公開セミナーを予定しております。

年会事務局： 北海道大学大学院獣医学研究院 環境獣医科学分野毒性学教室
事務局長：中山 翔太
〒 060-0818 札幌市北区北 18 条西 9 丁目
e-mail: secretariat@jsot2022.jp

年会ホームページ：
<https://www.jsot2022.jp>

第26回 腸内細菌学会学術集会 (現地開催予定)

- メインテーマ：次世代へ加速する腸内細菌研究
～マイクロバイオームの生理機能解明とその制御～
- 大会長：岡田 信彦（北里大学）
- 会 期：2022年7月7日（木）・8日（金）
- 会 場：タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）
- 事前参加登録：事前参加登録期間：2022年3月1日（火）～6月20日（月）
3/1～5/31：会員 7,000円 一般 11,000円 学生 1,500円（事前登録）
6/1～6/20：会員 8,000円 一般 12,000円 学生 1,500円（事前登録）
※当日参加は、会員 9,000円 一般 13,000円 学生 2,000円
- 大会ホームページ：<https://bifidus-fund.jp/meeting/index.shtml>
- お問い合わせ先：公益財団法人腸内細菌学会事務局
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12
TEL: 03-5319-2669 FAX: 03-5978-4068 e-mail: jbf@ipecc-pub.co.jp

※開催方法・プログラムは変更になる可能性がありますのでご了承下さい。

【7月7日（木）】

- 9：55～10：00 開会の挨拶 大会長 岡田 信彦（北里大学）
- 10：00～12：30 一般演題 A 口頭発表（若手枠）※優秀発表賞選考対象演題
一般演題 B 口頭発表（一般枠）
- 13：30～14：30 海外特別講演（大ホール）
Andreas J. Bäumler（University of California Davis）
“The Microbiota and Gut Homeostasis”
- 14：30～15：20 特別講演（大ホール）
植松 智（大阪公立大学 / 東京大学医科学研究所）
「Dysbiosis 関連疾患の新規治療法の開発」
- 15：40～16：30 研究奨励賞授賞式および受賞講演
- 16：45～17：45 一般演題 A ポスター発表（1F 展示ホール）
- 18：00～19：30 情報交換会（2F 福寿・桃源）※予定
※諸般の事情により、中止になる場合がございます

7月7日（木）小ホール

13：30～15：30 市民公開講座『くずりと腸内細菌』（事前申込制）

・小林 拓（北里研究所病院）

「炎症性腸疾患の最新知見—くずり・食事・腸内細菌—」

・角田 卓也（昭和大学医学部）

「腸内細菌とがん免疫療法—食物繊維発酵腸内細菌が治療効果を決める？—」

【7月8日（金）】

9：30～10：20 一般演題B 口頭発表（一般枠）

10：20～12：50 シンポジウム1『マイクロバイオームの生理機能』

松本 光晴（協同乳業株式会社研究所）

「腸内マイクロバイオーム由来ポリアミンの生理機能」

小川 順（京都大学大学院農学研究科）

「マイクロバイオームの代謝機能を介した食品成分の潜在生理機能発現」

新 幸二（慶應義塾大学医学部）

「長寿に関与する腸内細菌の探索」

笹部 潤平（慶應義塾大学医学部 薬理学教室）

「アミノ酸のキラリティによる免疫調節機構」

佐々木伸雄（群馬大学生体調節研究所）

「オルガノイドが紐解く消化管の複雑系」

13：50～16：20 シンポジウム2『マイクロバイオームの制御と健康』

金 倫基（慶應義塾大学薬学部）

「マイクロバイオームモジュレーターによる疾患制御」

新藏 礼子（東京大学定量生命科学研究所）

「リコンビナントIgA抗体によるDysbiosisの治療」

大谷 直子（大阪公立大学大学院医学研究科）

「腸内細菌叢と肝がん」

大野 欽司（名古屋大学大学院医学系研究科）

「パーキンソン病の腸管神経叢起源説と腸内細菌叢の関与」

石川 大（順天堂大学医学部）

「腸内細菌叢移植の現状と展開」

16：20～16：30 閉会の辞

公益財団法人日本食品化学研究振興財団 令和4年度助成決定について

公益財団法人日本食品化学研究振興財団（理事長 清水 孝重）は、次のとおり令和4年度助成金交付対象者（所属・職名は申請時）を決定しましたのでお知らせいたします。

研究助成採択件数および金額

一般研究	9件	計	450万円
課題研究	6件	計	300万円
合計	15件		750万円

前期シンポジウム開催等助成件数および金額

3件	計	100万円
----	---	-------

○一般研究

1. 食品中の残留高極性農薬の半自動同時分析法の開発に関する研究
（星薬科大学 教授 穂山 浩）
2. モノテルペンの精確な定量を指向した GC/FID における相対モル感度を用いた定量法の開発
（国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部 主任研究官 増本 直子）
3. ビタミン C が CD8T 細胞の病原体に対する免疫応答に及ぼす影響の解明
（滋賀医科大学 特任助教 近藤 健太）
4. 食品色素としての利用を目指した天然青色色素の全合成およびその微粒子の基礎物性評価
（東北大学多元物質科学研究所 助教 鈴木 龍樹）
5. 固相マイクロ抽出法を用いた加工食品中のフラン及びその類縁体の分析法の開発
（国立医薬品食品衛生研究所食品部 部長 堤 智昭）
6. 食品添加物の動物実験を用いない安全性評価の Systematic review に関する研究
（国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部 主任研究官 小島 肇）
7. ヒト iPS 細胞由来骨格筋細胞を用いた食品添加物ビタミン類の筋萎縮抑制効果に関する研究
（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 山内 祥生）
8. mTORC1 による免疫細胞の機能制御におけるアスパルテームの影響
（神戸学院大学薬学部 助教 小野寺 章）
9. 泌乳期における非糖質甘味料の摂取が血液乳閾門に及ぼす影響
（北海道大学大学院農学研究院 准教授 小林 謙）

○課題研究

1. 体内動態を考慮したミリシトリン含有ヤマモモシクロデキストリン包接体の生体調節機能について
(神戸大学大学院農学研究科 教授 芦田 均)
2. 食品添加物グレード二酸化チタン E171 の糖脂質代謝系における安全性評価
(岐阜薬科大学 講師 松丸 大輔)
3. アルギン酸ナトリウムの慢性的経口摂取による血圧上昇抑制効果
(神戸女子大学大学院家政学研究科 博士後期課程 丸山 紗季)
4. 炭酸水素ナトリウムの添加と高圧処理の併用による微生物初期汚染の低減の検討
(新潟大学研究推進機構超域学術院 助教 筒浦 さとみ)
5. クルクミンと食品添加物からなる共結晶の製造工程における物理的安定性ならびに保存安定性
(日本大学薬学部 助教 鈴木 直人)
6. デンプン分解米胚乳タンパク質の可能性
(新潟工科大学 准教授 久保田 真敏)

○(前期) シンポジウム開催等助成

1. 日本栄養・食糧学会
第 76 回日本栄養・食糧学会大会
「ポストコロナの未来を拓く栄養科学・食糧科学のあり方」
2. 日本食品化学学会
第 28 回総会・学術大会
3. 食品マイクロコロイド研究会
第 33 回食品マイクロコロイドシンポジウム・セミナー及び国際 Mini-Sympo